

甲曹名考

くがあゝんしけるあゝん
よしてすぢいもあゝん
けりもあゝん道志いあゝん
人うまと思ひいあゝん

貞丈

あうらるる人乃心をあさちあれ

小登の志れをう道なるうあり

か此人の山野氏なりりねそれ氏をよ

あゝん

一 甲冑名考 此考文冬ノ草摺也

平貞丈著

一 カワヲト云ハヨロヒノ古名也 日本紀崇神天皇ノ紀ニ時人号^テ其脱^ス甲^カ處曰伽和羅ト見ヘタリ又古事記仁徳天皇ノ記ニ以鈎探^カ其沉處者繫^カ其衣中甲而訶和羅^カ鳴故号^ニ其地謂訶和羅前ト見タリ右ノ伽和羅モ訶和羅モ共ニヨロヒノ夏ヲ云也又日本紀仁徳天皇ノ記ニ令求^カ其屍^カ泛於^カ考羅^カ濟^カト見タリ此考羅濟ハ古事記ニ見タル訶和羅前ノ夏ヲ云ヘル也考羅ハ訶和羅轉語也

甲冑名考

Handwritten notes in cursive script, mostly illegible due to fading.

一ヨロヒヲ上右カワラト云し事ハカワラハカヲワルノ
畧語ニシテ又轉語也カラハカ殼也ワルハ開也草木
ノ種ヲ植テ後其苗ノ生ズル時必其カラワレテ
芽ヲ生じ芽ノ頭ニ其カラヲカブリテ生ズル也
此義ヲ以テスベテ堅キ物ヲカブル物ヲカワラト云
亀ノカワラサカヲ氏云カワ
テノ轉語ナリ屋ノ上ノ葺瓦モカワラト
云人ノヨロヒヲカワラト云皆同意也カラワルノヲ
中畧シルヲ轉シテラトシテカワラト云也カワラ
ヲカハラ
ト書ハ非也日本紀古事記ト
モニ和ノ字ヲ用タリ平貞文
一吾國ノミカラワルノ義ヲ以テ名ヅクルニアラス西土ニ

テモ亦同意也甲ノ字篆書ニテハ甲如此也説文
甲ノ字注ニ云東方孟陽之氣萌動从木戴字甲
之象ト見タリ此注ノ意ハ甲ハ東方ヨリ春ノ初ノ
陽氣萌シ動ク也放ニ甲ノ字木實土中ヨリ
春ノ陽氣ヲ得テ出生スルニ其カラワレテ芽ヲ生じ其
芽ノ頭ニ字甲ヲ戴テ生出ノル形ニ象テ甲ノ字ヲ
作りタル也ハハカラノワレタル形也丁ハ芽ノ形也
芽ヲ生スル義ヲ以テハ甲乙ノ甲トシ字甲ヲ
戴ク義ヲ以テハ甲胃鱗甲等ノ甲トスル也然
ハカラワルノ義西土ニテモ同意也字ハタマコ也鳥ノ
タマゴハカテアル

也

一カワラト云ハカラワルノ義ニテ木ノ芽ノカララ
 戴クノ義ナラハカフトノミラカワラト云ヘシト
 心得ハ弁タル説ニテ偏屈頑愚ノ至ナルヘシ既ニ
 古事記ニ衣ノ中甲ト見ヘタリ只大ヤウニヨロヒカ
 フトノ櫛名ト心得ヘシ ヨロヒハ胸ノカワラナリカフトハ
 頭ノカワラナリ
 一カワラノ夏ヲヨロヒト云ヒカヘタル夏モ近世ノ夏
 ニハアラズ源順ガ和名抄ニ甲唐韻云鏡升蓋反和
 名與踏比
 甲也ト見タリ其稱久シキ夏ヲ知ベシ
 一甲鏡等ノ字カワラハ本訓也ヨロヒハ擬訓也日本

一紀齊明天皇ノ紀ニ籓旗二具トアルラ二具ノ字
 ラワタヨロヒト訓來レリ又源氏物語ニラキモノ
 ノヅシフタヨロヒトアリ義經記ニ屏風一ヨロヒトアリ
 何レモ一具二具ト云夏也ヨロヒトハヨリソロヒノ略
 語ニテ寄り齊ヒタルヲ云具ノ字ハトモトヨム物ヲ
 彼ト是トヲ具ニシ寄り齊フヲヨロヒト云フニ依テ
 具ノ字ヲヨロヒトヨム也甲胃モカフト、胸トコテス
 子アテノ類寄リソロヒタルヲ以テヨロヒト云フナリ
 軍ノヨロヒト云ベキヲ軍ノ字ヲ畧シテ云也
 一鏡ノ事ヲ具足ト云モ具足ノ二字ヨロヒタレリトヨ

一 此ノ曹モ胴モコテス子アテ等モ具ニ寄リソロ
ヒ更足リソナハリタルヲ云也俗説ニ大将ノ鎧ヲヨ
ロヒト云平士ノ鎧ヲ具足ト云ト云ヘリ語ナリ右
キ書ニ其差別ナシ

一 カフト、云事信西入道カ本朝事始ニ加布止者
以言加布良牟止須也ト云ヘルハ笑フヘキ更也カブ
トハカシラフタノ畧語ニテ又轉語也タヲ轉レテト
ト云也カシラフタノ蓋ト云フ更也フタハ本フタグ也物ヲ
蓋ニ塞グヲ云也

一 ヨダレカケヲ古代ハアガヘノヨロヒト云日本紀欽明

天皇ノ紀ニ頸鎧ノ字ヲアガベノヨロヒト訓來レリ釋日
本紀ニ頸鎧ハ与多利加氣ト云物也ト見タリアガベ
ト云ハアキベ也アギハアゴ也ヘハアタリホトリヲ云
腮邊也 ベト云ハ邊ノ字音ニアラス和 延掛ハアゴノ廻リニ
掛ル故アギベノヨロヒトイフ也アキモアカモアコモ
五音相通也

明和九年壬辰七月十六日伊勢平藏貞丈記印